

地域学修報告 一覧（2025年度）

【学内/学生向け】

NO	担当	活動名	実施日
1	地域総合センター	「尾道学入門（教養教育科目）」 尾道の経済・文化・歴史について学ぶ。 《担当講師》 外部講師：豊田雅子／小川長／新宅美和／吉田守／真野洋介／梅林信二／林良司 経済情報学科：前田謙二／林直樹／森本幾子 日本文学科：原卓史／灰谷謙二／藤井佐美 美術学科：小野環／中村譲	2025年前期授業 (全15回)
2		「青春の尾道～商店街共創プロジェクト～」 （会場：尾道本通り商店街） 尾道本通り商店街からの依頼により、尾道みなと祭りにて「青春の尾道～商店街共創プロジェクト～」と題した絵のまち通りシールラリー・グッズ販売や、オリジナルデザインのイラスト販売を行った。希望する本学学生5名が参加。	2025年 4月25日（土） 4月26日（日）
6	木村文則 (経済情報学科)	「尾道商業高校 データサイエンス出張講義」 尾道商業高校での探究学習の支援 - データ分析手法や知識の解説授業。	2025年 6月3日（火） 7月7日（月） 10月27日（月） 11月11日（火）
7		「尾道商業高校 プログラミングを学ぶ意義」 尾道商業高校での講演。	2025年 7月16日（水）
8		「尾道市小中学生向けプログラミング教室」 尾道市主催の小中学生向けプログラミング教室での質問対応サポート 経済情報学部 1年生2名、情報コース 3年生4名、4年生1名がスタッフとして参加。	2025年 9月7日（日）
9		「尾道市小中学生向けプログラミング教室」 尾道市不登校傾向生徒向けプログラミング体験教室。	2025年 9月16日（火） 10月16日（木） 2026年 1月15日（木）

10	木村文則 (経済情報学科)	<p>「尾道市小中学生向けプログラミング教室」</p> <p>中学生向け部活動(2/1,8,15) *参加者は全員小学生(お題の作成から当日の解説・運営まで本学学生が担当)。</p>	<p>2026年</p> <p>2月1日(日)</p> <p>2月8日(日)</p> <p>2月15日(日)</p>
11	井本 伸 (経済情報学科)	<p>「広島大学との合同卒業論文中間報告会」</p> <p>尾道商店街にある「尾道商業会議所記念館」の2階議場にて、広島大学山崎ゼミ・山田ゼミと合同で卒業論文の中間報告会を行った。</p>	<p>2025年</p> <p>12月13日(土)</p>
12		<p>「出張マネー講座～人生とお金～」</p> <p>尾道市を中心に金融等のセミナー事業を展開している株式会社プロシード様から加藤雄大氏をお招きして、学生向けに「ライフサイクルと人生の三大資金」「勤労と“金労”」といったことをテーマにご講演いただいた。</p>	<p>2025年</p> <p>5月29日(月)</p>
13	岡本隼輔 (経済情報学科)	<p>「尾道市の通行量調査の可視化」 (専門演習2a, 2bにおける卒業論文のテーマ)</p> <p>尾道市が3年に一度行っている通行量調査の結果を元に、カーネル密度推定という手法を用いて、尾道市の商店街である『尾道本通り商店街』を中心に、尾道市街地における人々の回遊状況の可視化を行った。具体的には、各地点で計測された通行量の数字を元に、市街地全体の通行量をヒートマップの形で表現している。</p>	<p>2025年度</p>
14	前田謙二 (経済情報学科)	<p>「講演「これからの社会に向かって」</p> <p>広島国税局課税第一部長 楠 久幸様による財政の現状と国税の取組である適正・公平な税務行政の推進に関する講演。</p>	<p>2025年</p> <p>12月2日</p>
15	津村怜花 (経済情報学科)	<p>「会計の知識とキャリア「国税が皆さんを待っている！ ～税のプロフェッショナルを目指して～」</p> <p>「会計学概論」の第15回目の授業で、会計を使う仕事を周知する一環として、尾道税務署署長 磯部修一様にお越しいただき、尾道税務署、そして国税専門官の仕事をはじめ、様々な仕事と会計のかかわりをお話しいただいた。</p>	<p>2026年</p> <p>1月19日(月)</p>
16	津村怜花 井本伸 森本幾子 (経済情報学科)	<p>「広島銀行による金融教育講座」</p> <p>「基礎演習Ⅰ」第7回目の授業で、株式会社広島銀行尾道支店の方をお招きし、金融教育を実施した。</p>	<p>2025年</p> <p>6月4日(水)</p>

17	津村怜花 前田謙二 西村剛 (経済情報学科)	「 広島銀行による金融教育講座 」 専門演習Ⅰb、専門演習Ⅱbの第5回目の授業で、広島銀行尾道支店の方による金融教育を実施した。	2025年 10月22日(水)
18	趙怡純 (経済情報学科)	「 卒業論文における調査 」 卒業論文の調査として、尾道市内の個人経営のカフェのInstagram利用実態を取り上げた。	2025年度
19		「 修士論文におけるインタビュー調査 」 修士論文における調査対象を尾道市内の消防署とし、消防士の方々にインタビュー調査をし、その結果を修士論文としてまとめた。また、終了発表会において発表を行った。	調査研究 2024年度～2025年度 修了発表会 2025年9月9日
20	南郷 毅 (経済情報学科)	「 共通テスト「情報」模擬試験&解説会 」 尾道市近隣の高校1,2年生を対象とした、2026年度共通テスト「情報」の模擬試験と解説を実施。	2026年 2月7日(土)
21	日本文学科	「 おのみち文化スタディ 」 日本文学科の新入生歓迎行事の一つ。上級学生スタッフと教員が新入生と一緒に尾道を散策する。また後日、散策に関する報告会を行う。	散策 2025年5月10日(土) 報告会 2025年6月13日(金)
22		「 フィールドワーク 」 日本文学科3年生以上を対象とする授業。フィールドワークの基礎知識を実習とともに学ぶ。 授業：大学内 実習先：島根県津和野町、山口県山口市	通年(前期～後期授業期間)
23	藤井佐美 (日本文学科)	「 科目『民話研究』 」 尾道の昔話・伝説・年中行事等の伝承内容を、映像や音声資料とともに講述した。	2025年度前期
24		「 科目『民俗学2』 」 民間伝承に関する映像や音声等の傍証資料を教材として、現代の地域社会における課題の事例について講述した。	2025年度後期
25		「 科目『伝承文学専門演習b』 」 瀬戸内に関する昔話資料を教材として演習をおこなった。	2025年度後期

26		<p>「科目『文化財学』」</p> <p>オムニバス授業において尾道の様々な文化財の解説をおこない、フィールドワークも実施した。</p>	2025年度後期
27	藤井佐美 (日本文学科)	<p>「科目『民俗学1』」</p> <p>民間伝承に関する映像や音声等の傍証資料を教材とし、現代の地域社会における課題の事例について講述した。</p>	2025年度前期
28		<p>「科目『瀬戸内文化論』」</p> <p>しまなみ海道をめぐる伝承文化の事例紹介と島々の歴史解説をおこなった。また、ゲストスピーカーとのディスカッション授業もおこなった。</p>	2025年度前期
29	吉田宰 (日本文学科)	<p>「『江戸庶民の美 大津絵と浮世絵版画』見学」</p> <p>ゼミ活動の一環として、尾道市立美術館で開催された展覧会に赴き、近世文学に関する課外学習を行なった。</p>	2025年 4月23日(水)
30		<p>「教職課程学生対象の教職の実際に関する学び」</p> <p>広島県教育委員会の方を招き、「教員の一日」(科目「教師論」11/10)、「マナー・コミュニケーション講座～教員として人とツナがる」(科目「教職実践演習」11/28)、「特別支援教育の考えを生かした個別最適な学びとICTを活用した授業」(科目「教育の方法と技術・教育におけるICT活用」12/12)という内容を学ぶ機会を設けた。</p>	2025年 11月10日(月) 11月28日(金) 12月12日(金)
31	山田和大 (日本文学科)	<p>「教職課程で学ぶ学生の学外実習」</p> <p>広島大学附属福山中・高等学校で行われた公開研究会に、「国語科教育法II」(11月21日)、「教職実践演習」(11月22日)を受講している学生とともに参加し、研究授業を参観して授業の実際についての理解を深めるとともに、研究協議を通して授業づくりについての学びを深める機会を設けた。</p>	2025年 11月21日(金) 11月22日(土)
32		<p>「出前授業『中国文学が日本文学に与えた影響』」</p> <p>広島県立呉三津田高等学校(6/11)、広島県立尾道東高等学校(7/9)において実施した。</p>	2025年 6月11日(水) 7月9日(水)
33		<p>「出前授業『漢詩を作ってみよう』」</p> <p>広島県立広高等学校において実施した。</p>	2025年 9月17日(水)

34	山田和大 (日本文学科)	「出前授業『教育方法学入門の入門』」 広島県立油木高等学校において実施した。	2025年 11月19日(水)
35	美術学科 デザインコース	「デザイン×私のまち 第23回 地域プレゼンテーション」 (会場：尾道市立大学 美術館/しまなみ交流館) 尾道地域または学生の出身地域を題材に作品制作またはデザイン企画を行い、尾道市民へ向けてプレゼンテーションによる発表と展覧会を実施した。	展示会： 2026年1月30日(金) ～2月1日(日) 発表会： 2026年2月11日(水)
36	美術学科	「実技授業とフィールドワーク」 小野環教授を講師として、油画実習1のオムニバス授業で尾道旧市街のフィールドワークと小林和作旧居を活用した展示の演習を行なった。	2025年 後期授業 10月
37	油画コース	「油画実習1 フィールドワーク」 油画コース2年生のフィールドワークとして地域の美術館(広島市現代美術館、下瀬美術館、ふくやま美術館、岡山芸術交流各会場)の見学を行った。	2025年 10月
38	中村 譲 山梨千果子 小西美幸 (美術学科)	「芸術的な視点を取り入れた幼児教育事業」 本学と尾道市教育委員会が連携をして実施。美術学科を備える本学の知見を活かし、芸術的な視点を幼児教育に取り入れることで幼児の表現力、創造力の向上を図ることを狙いとしている。 市内幼稚園・小学校等合わせて5か所にて、 「砂子絵を体験する活動」「様々な技法を用いた絵具での表現活動」「様々な種類の紙の材質を生かした造形活動」を行った。	2025年 6月～7月 10月～12月
39	中村譲 鈴木恵麻 山梨千果子 小西美幸 (美術学科)	「日本画体験ワークショップ」 尾道市立重井小学校にて、「体験を通して日本画のよさに気付こう。」を授業のめあてとして日本画体験ワークショップを行った。	2025年 5月19日(月)

40	橋野仁史 小西美幸 (美術学科)	<p>「子どもワークショップ」</p> <p>尾道市総合福祉センターで計4回造形ワークショップを実施。「子どもたちに表現することやものづくりの楽しさを伝えること」を目的とした。対象は小学生とし、1回あたり2.5時間(導入・片付けを含む)の活動を行なった。なお、本ワークショップでは継続的な参加が難しい児童が多いことを想定し、各回で完結する内容にした。</p> <p>《各回の内容》</p> <p>第1回：「絵の具で遊ぼう!!」/絵具を用いた絵画表現技法の体験。技法体験後、描いた絵の好きな部分を切り取り、スクラップブック作りを行なった。</p> <p>第2回・第3回：「バラづくり」/紙と粘土を主に用いてバラのオブジェづくりを行なった。</p> <p>第4回：「カードづくり」/ファンシーペーパーなどの紙を用いてメッセージカードづくりを行なった。</p>	<p>2025年</p> <p>7月5日(土)</p> <p>7月12日(土)</p> <p>7月19日(土)</p> <p>7月26日(日)</p>
41		<p>「ワークショップ「大津絵と浮世絵版画を体験しよう!!」」</p> <p>尾道市立美術館からの依頼で、2025年4月29日に「江戸庶民の美 大津絵と浮世絵版画一幻の東海道五拾三次一」の関連イベントとして小学生を対象としたワークショップを開催した。本ワークショップでは、説明や体験を通して大津絵と浮世絵版画について知ってもらうことを目的とした。</p>	<p>2025年</p> <p>4月29日</p>
42	小西美幸 (美術学科)	<p>「ワークショップ「飛び出すレターセット作り」」</p> <p>尾道市児童センターからの依頼で、小学生を対象としたワークショップ「飛び出すレターセット作り」を実施した。本ワークショップでは、A4サイズのポップアップカードと55×90mmのメッセージカードの制作を行なった。</p>	<p>2025年</p> <p>7月31日</p>
43		<p>「子どもワークショップ」</p> <p>「広島県こども夢基金活動助成事業助成金」の助成を受け、小学生向けの造形ワークショップを企画・実施した。</p> <p>第1弾：「でこぼこの絵を作ろう!!」</p> <p>紙粘土や木片、水彩絵具、タイル等を用いて凹凸のある絵を制作。</p> <p>第2弾：「自分だけのオリジナルトートバッグを作ろう!!」</p> <p>消しゴム判子や布絵具、スチレンボードを用いてトートバッグに模様をつけた。</p>	<p>2025年</p> <p>10月12日</p> <p>10月26日</p> <p>2026年</p> <p>2月22日</p> <p>3月8日</p>

44	野田尚之 (非常勤講師)	「尾道の街ロケと寺社巡りでロケ撮影」 写真演習の授業の中で尾道の街と寺社のロケ撮影を行い新たな発見をしてもらう。前期後期で各々約3時間を4日間かけてロケ撮影を行なっている。	2025年 前期4回 後期4回
----	-----------------	---	-----------------------